

おうち英語

園で行っている英語教育の1つ『ライモー』。
これは子ども達に「こんな体験してもらいたい」という法人の想いで始まりました。
ライモーの基本は【英語を吸収しやすい身体づくり】と【英語に触れる土台づくり】です。
歌ったりゲームをしたりして、音や動きでバウンシングリズム（ボールがポンポンと弾むようなリズム）を体感し、英語を楽しみます。
子どもは『楽しい！』と思うことなら何でも興味を持って自ら学びを深めていきます。
そのため英語を『もっと話せるようになりたい』と感じた時に、このベースがあると吸収する速度が違うと思います。
そもそも英語も『言語』の1種類で、コミュニケーションのツールですから、特に子どもは『よし！力を入れて学ぶぞー』と意気込まないとはいけません。
日常の中で自然と英語に触れているような感覚で、絵本など取り入れやすい物から試してみると、いいですね。
ただ前述のように『自然と楽しむ』のがポイントですから、子どもが興味を持ったこと、例えばディズニー、トーマス、おさるのジョージ etc 多角的に色々なことを視野に入れるといいかもしれません。
何より、お母さんお父さんも『子どもと一緒に学ぼう！楽しもう！』とすることで、より身近になりますね。
「英語も発音も上手じゃないから…」と自信がない方もいらっしゃるかもしれませんが、心配ご無用です。
日本語に方言があるのと同じように、英語でもインド英語、シンガポール英語がありますし、イギリスとアメリカでも英語に違いがあります。
私もフィリピンとカナダに留学しましたが、解らなかつたことや通じなかつたことはありませんでした。
ただ、英語には音があるので、その音の違いがあることは理解しておくことが大切です。
例えば、ハート♥heartと「痛い」の意味があるハート hurts では、同じように聞こえるかもしれませんが意味が全く違ってきます。
そこで海外の子ども達も学んでいる、フォニックス（発音と文字の綴りを学ぶ）や、チャンツ（一定のリズムに英単語や英文を乗せて発音する）に触れることで、聞き取る、使い分ける力につながります。
これも親子で一緒に楽しんでやってみるといいですね。
もし、ご家庭で『ちょっと英語を楽しんでみようかな』と思うようでしたら、以下の物も見てみて下さい
さてここまで英語を取り上げて書きましたが、一番大切なのは「子どもが興味を持ったことに、親子で一緒に取り組んだり楽しむこと。これこそが本当に幸せな時間！」ということです。

おすすめ教材



- ORT（オックスフォード、リーディングツリー）絵本
- ORC(Oxford Reading Club) 上記の電子書籍で月額、定額制
- 音で学べる！英語、ことば辞典 5000…小学館（タッチペン式）



- Alpha blocks
- ジョリーフォニックス
- RHYMOE YouTube

（進藤真衣）